

ノーコードでもここまでできる！  
ArcGIS Experience Builderによるアプリ作成  
～ 基本操作から「アクション」の設定活用まで～

ESRIジャパン株式会社

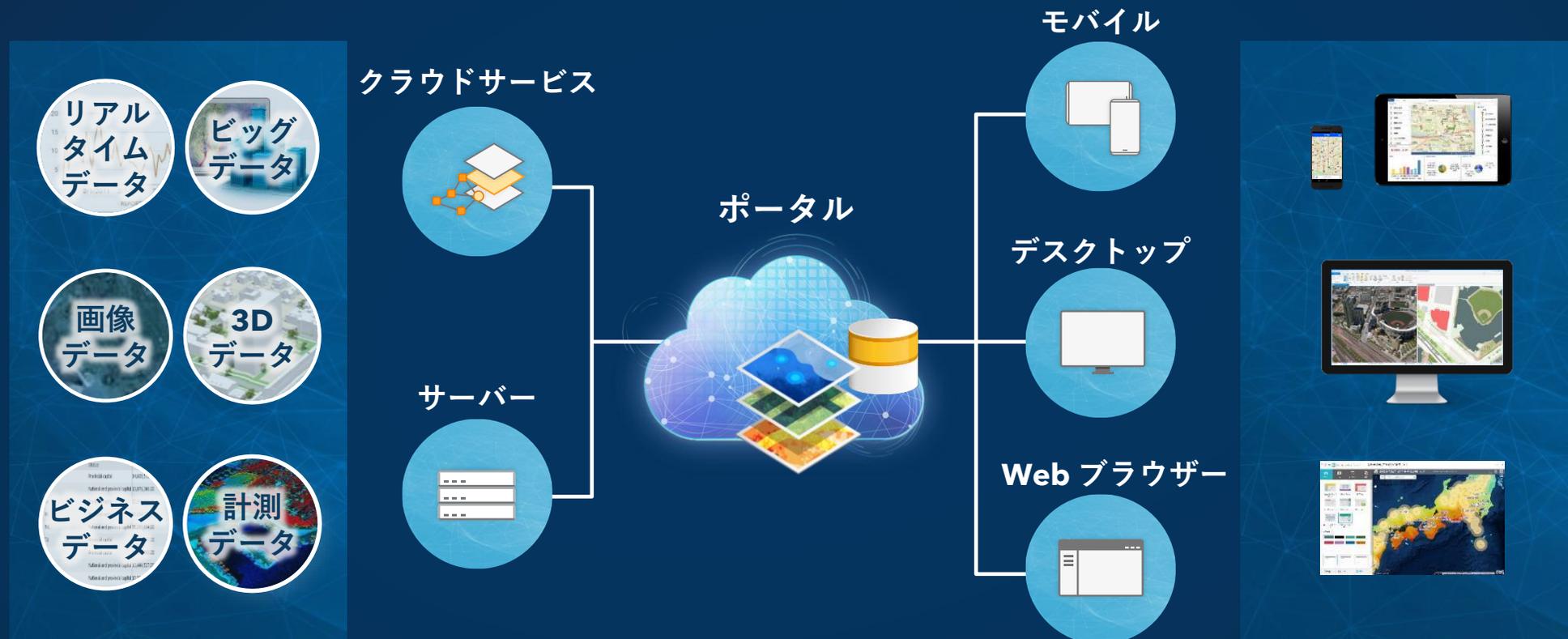
# 内容

- ArcGIS について
- ArcGIS Experience Builder について
  - 概要
  - Web アプリ作成の手順
- ArcGIS Experience Builder の「アクション」
- まとめ

# ArcGIS について

# ArcGIS について

- 地理空間情報を最大限に活用できる GIS プラットフォーム



「あらゆる地理空間情報」を「あらゆる環境」で活用

# ArcGIS におけるアプリケーション開発

## ノーコード開発

コード記述は不要

## ローコード開発

最小限のコード記述

## スクラッチ開発

コード記述で1から開発

### モバイル/ネイティブアプリ



### Web アプリ



### モバイル/ネイティブアプリ



### Web アプリ



### モバイル/ネイティブアプリ

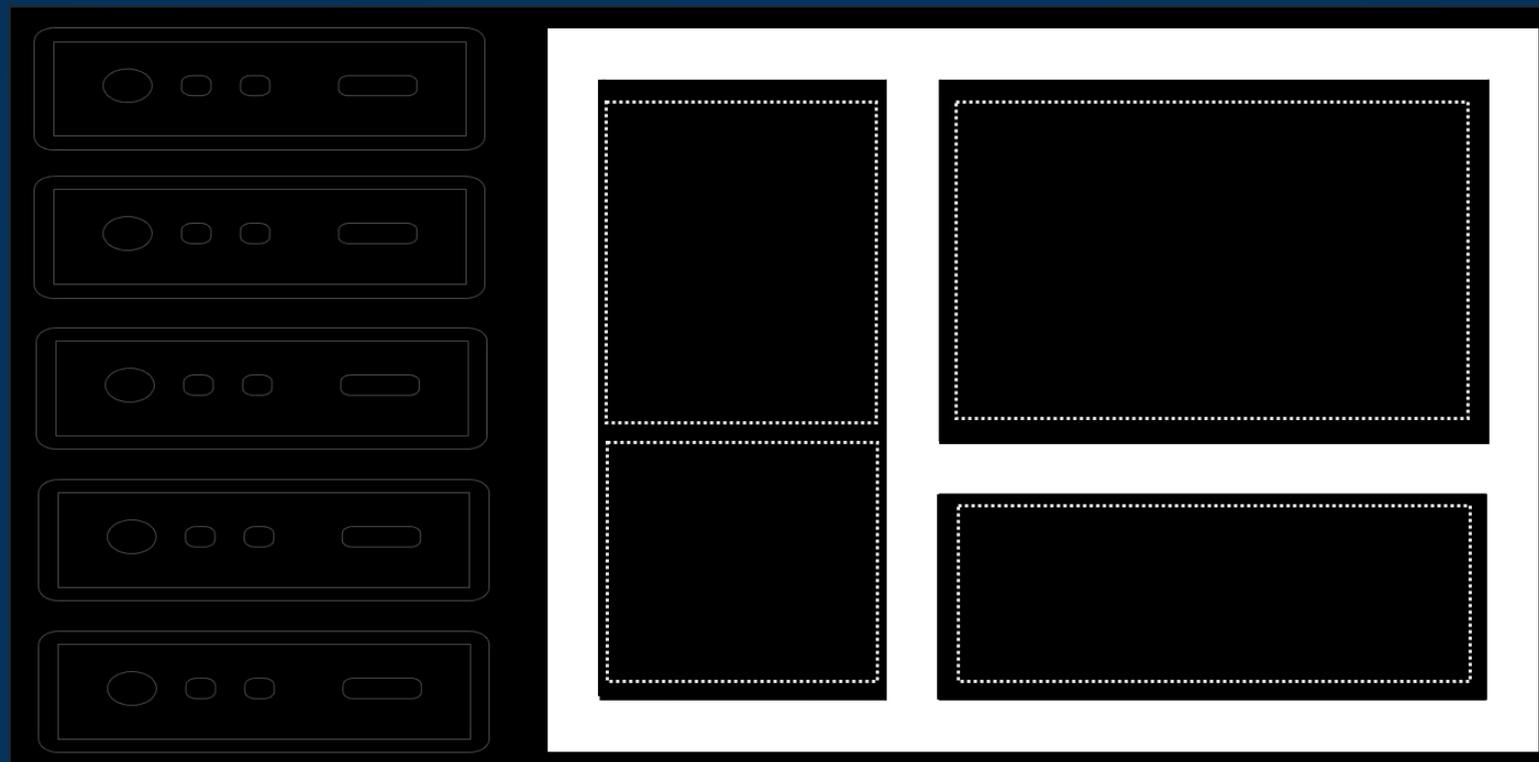


### Web アプリ



# ノーコード開発

パーツの組み合わせと設定だけでアプリ開発



誰でも簡単に、すばやく低コストでアプリ開発が可能に



# ArcGIS Experience Builder について



# ArcGIS Experience Builder

## ノーコードで柔軟な Web アプリを開発

デバイスに合わせたレイアウト

複数ページの構成が可能

2D / 3D の連動



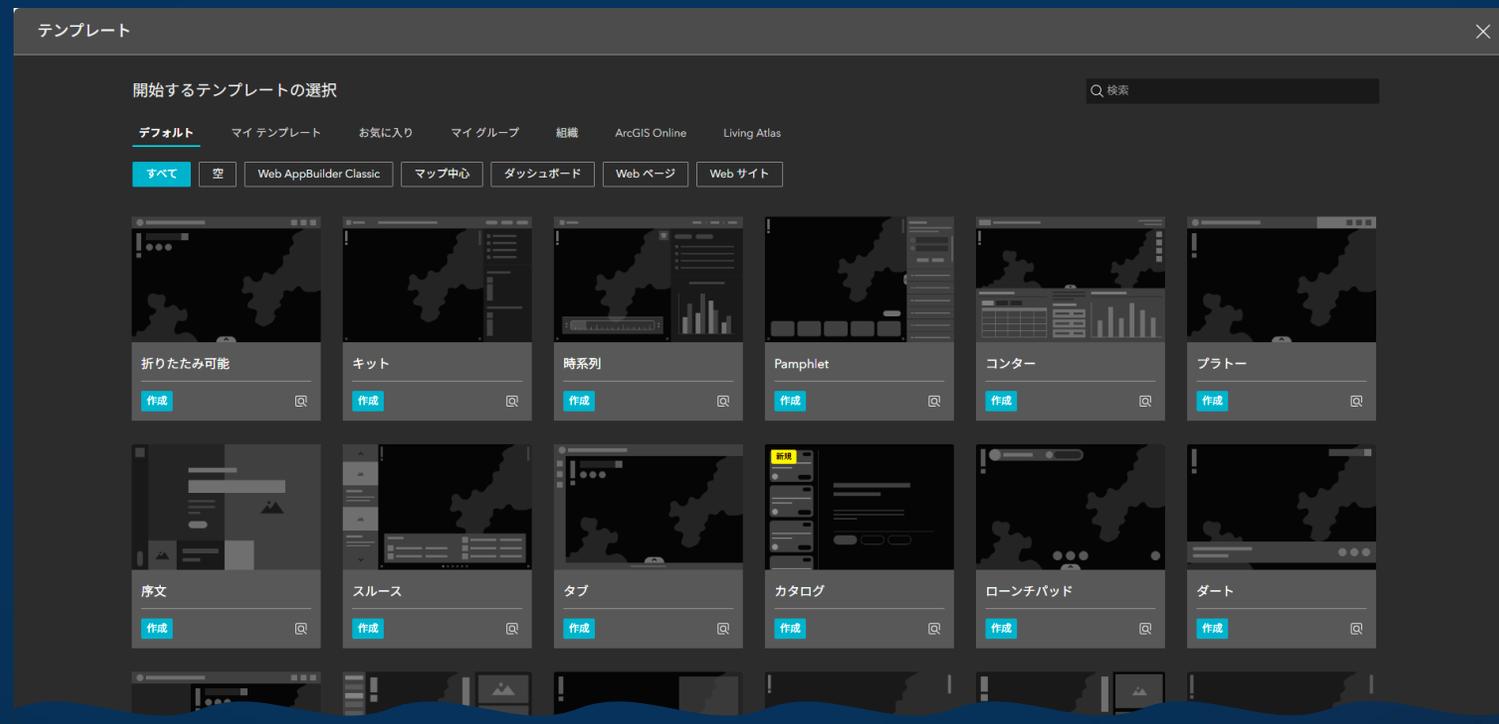
# ArcGIS Experience Builder

- 要素と設定の組み合わせで、独自の UI や機能を定義



# テンプレート

- 多様なテンプレートから、用途に合うものを選択
  - 選択後でもデザインは自由に変更が可能
  - [空白の全画面] テンプレートを用いて 1 から作成も可能



# ウィジェット

Web アプリ上に配置する機能を持ったパーツ

## 基本ウィジェット

### マップ中心

マップ	ベースマップギャラリー	マップレイヤー	凡例	座標
計測	ルート案内	ブックマーク	座標変換	印刷
描画	スワイプ	フロアフィルタ	マイロケーション	近隣検索
標高断面	解析	Business Analyst	適合性モデラー	方向付き画像ビューアー
処理テンプレート	3D ツールボックス	フライコントロール	ビルディングエクスプローラー	方向付き画像 (Classic)

### データ中心

検索	リスト	テーブル
チャート	フィーチャ情報	フィルター
クエリ	選択	編集
フィーチャレポート	データの追加	調査
タイムライン	プランチバージョン管理	

### メニューとツールバー

メニュー	ウィジェットコントローラー
共有	ログイン

### ページ要素

テキスト	画像
ボタン	カード
埋め込み	区切り線

## レイアウトウィジェット

### レイアウト

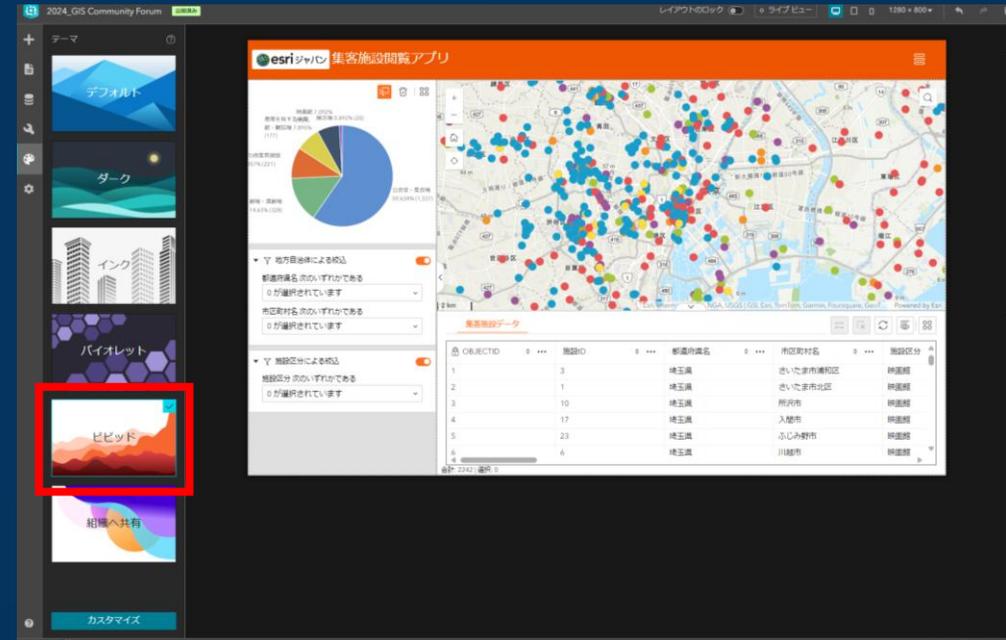
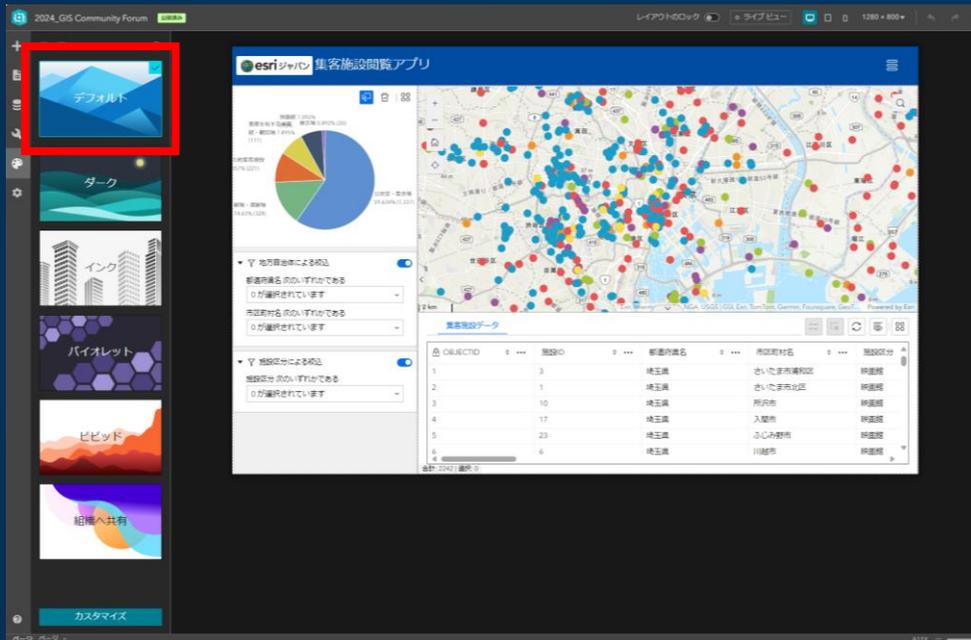
固定パネル	サイドバー
行	列
グリッド	アコーディオン
フロー行	プレースホルダー

### セクション

セクション	ビューのナビゲーション
-------	-------------

# テーマ

- アプリの外観に対してあらかじめ設定されたスタイル





# Web アプリの作成手順

# Web アプリ作成の手順

- Web マップをベースに GUI 操作でアプリケーションの UI・機能を設定



アプリに使用する  
Web マップを作成



作成したい UI に近い  
テンプレートを選択



ウィジェットの追加と設定  
テーマの変更

ウィジェットを配置  
デザインや機能を設定

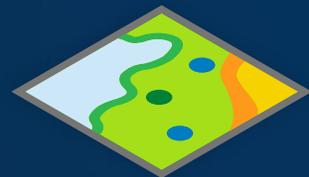


# Web マップ

- 主題図（操作レイヤー）と背景地図（ベースマップ）にポップアップやシンボルなどの振る舞いを定義した地図の設計図



操作レイヤー



ベースマップ

## Web マップ



ArcGIS Online / ArcGIS Enterprise

### • Web アプリケーション

- ArcGIS Experience Builder
- ArcGIS Dashboards など

### • ArcGIS Apps

- ArcGIS Survey 123
- ArcGIS Field Maps など

### • デスクトップ アプリケーション

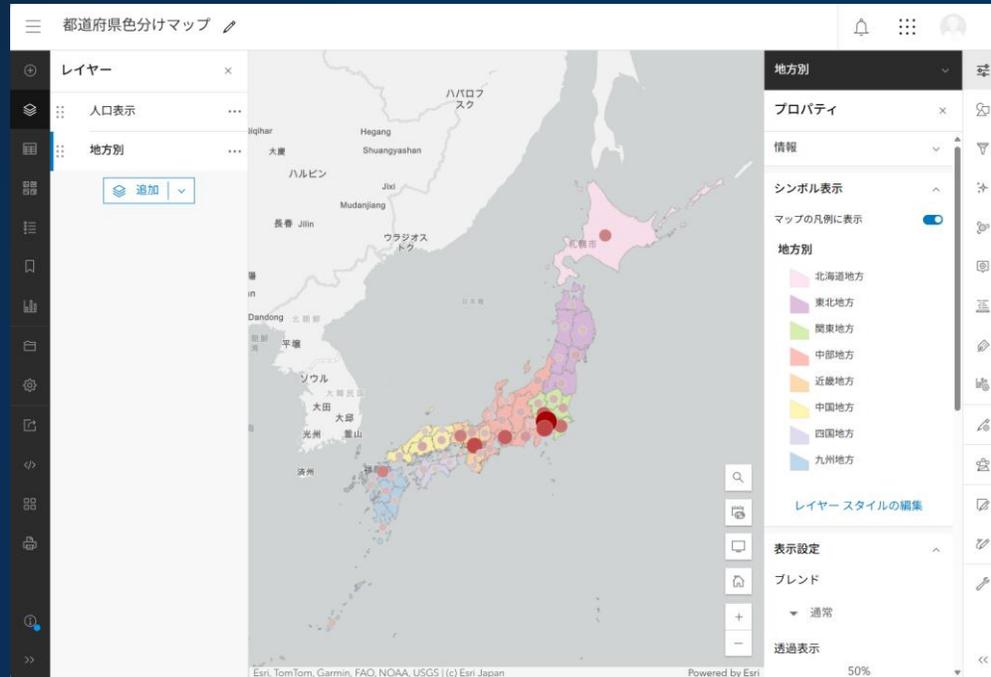
- ArcGIS Pro

### • 開発 API / SDK

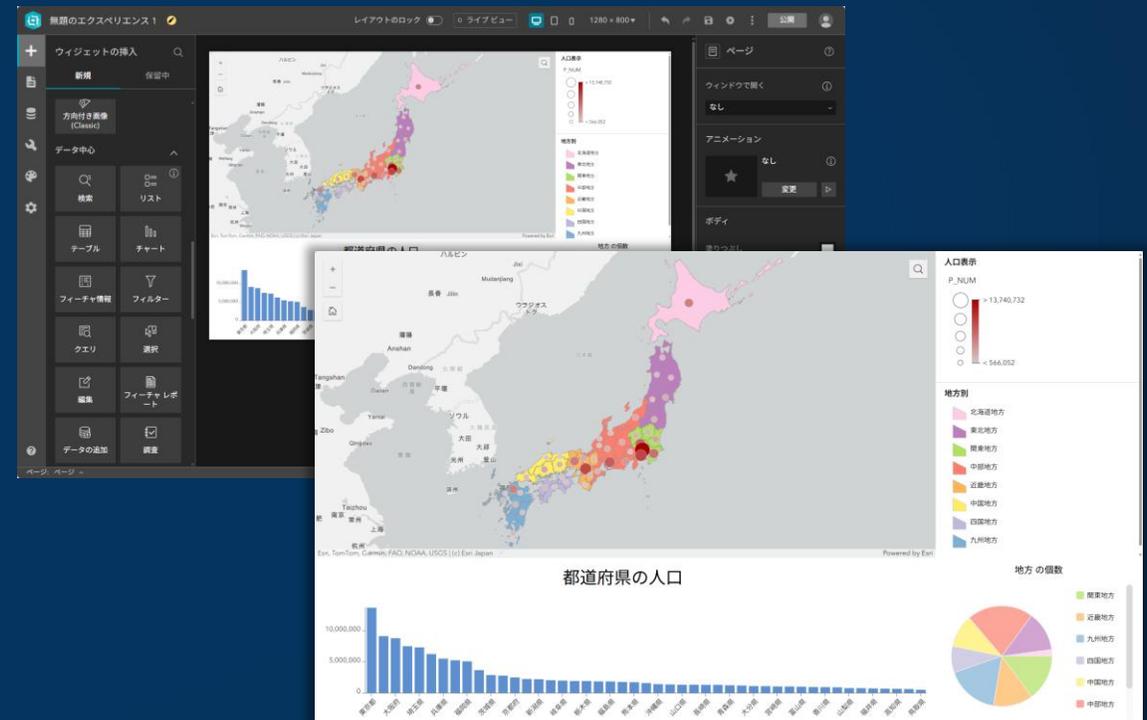
- ArcGIS Maps SDK for JavaScript など

Web マップを通じて、様々なアプリで同じ情報を利用可能

# Web マップ



**Web マップ**  
(ArcGIS Online Map Viewer)

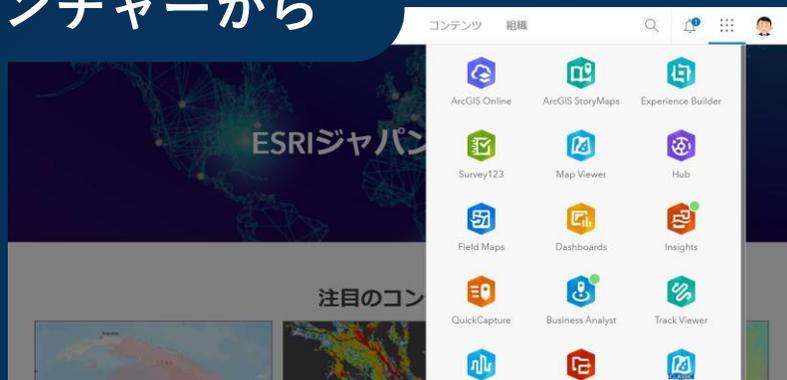


**Web アプリケーション**  
(ArcGIS Experience Builder)

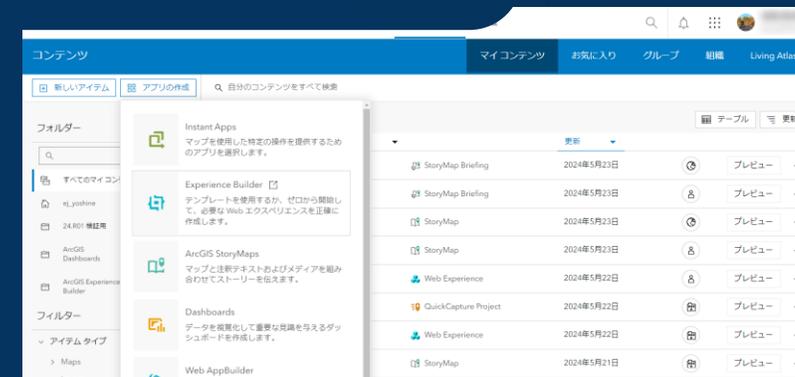
# ArcGIS Experience Builder の起動

4 種類いずれかの方法で起動

アプリ ランチャーから



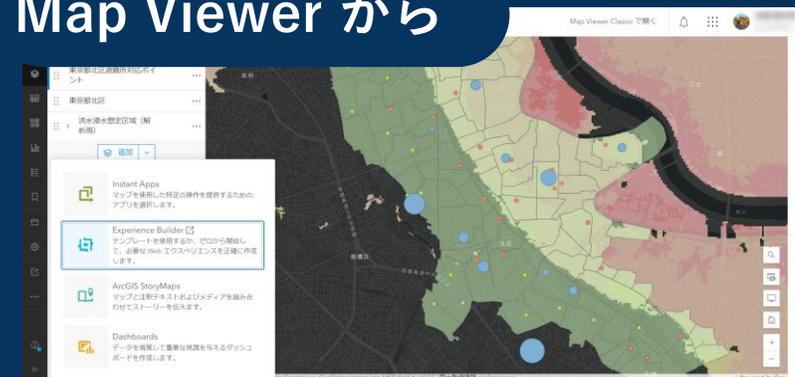
マイ コンテンツから



アイテム詳細ページから

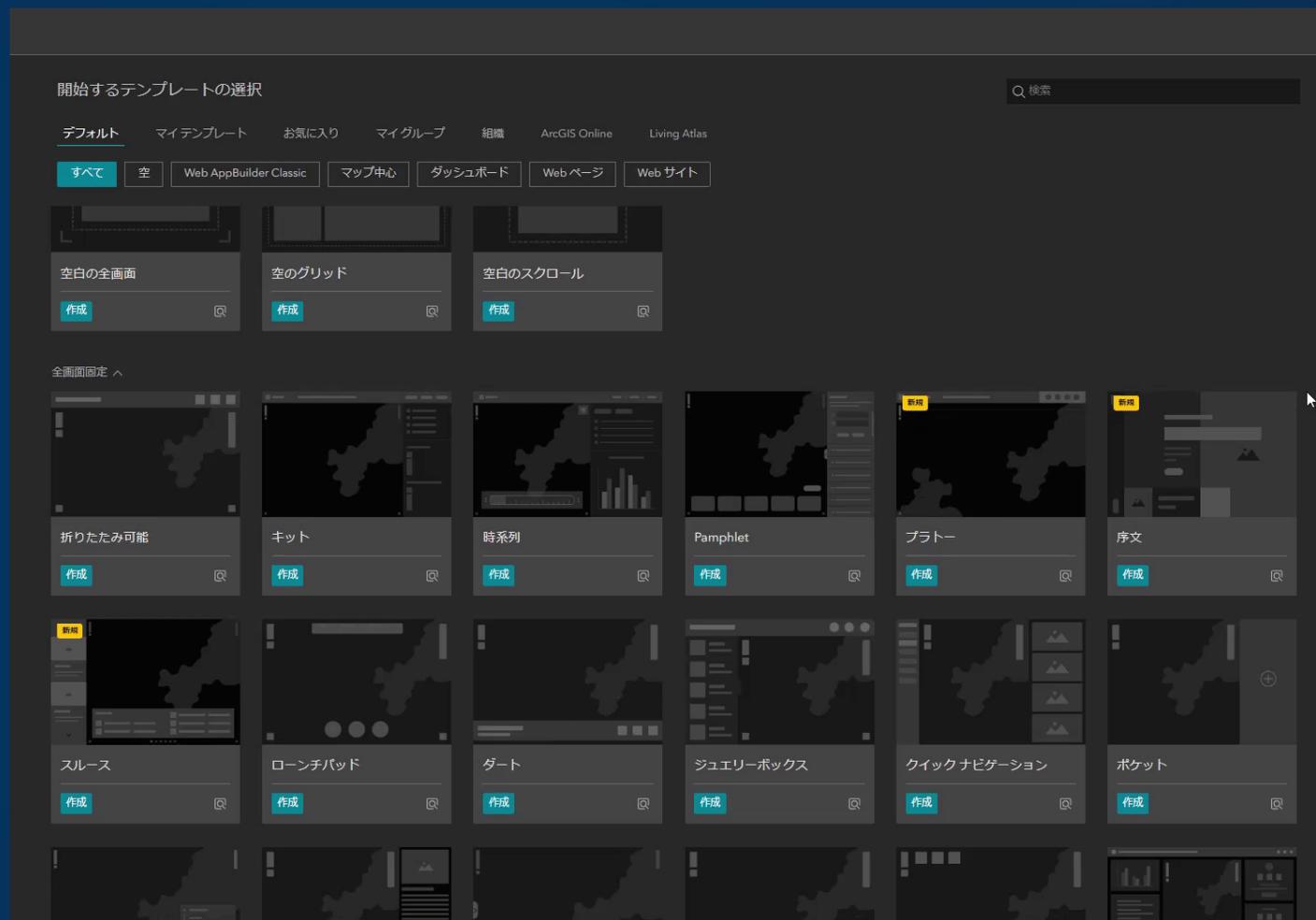


Map Viewer から



# テンプレートの選択

- 50 種類以上
- 目的別の分類
- 説明とプレビューを簡単に確認可能

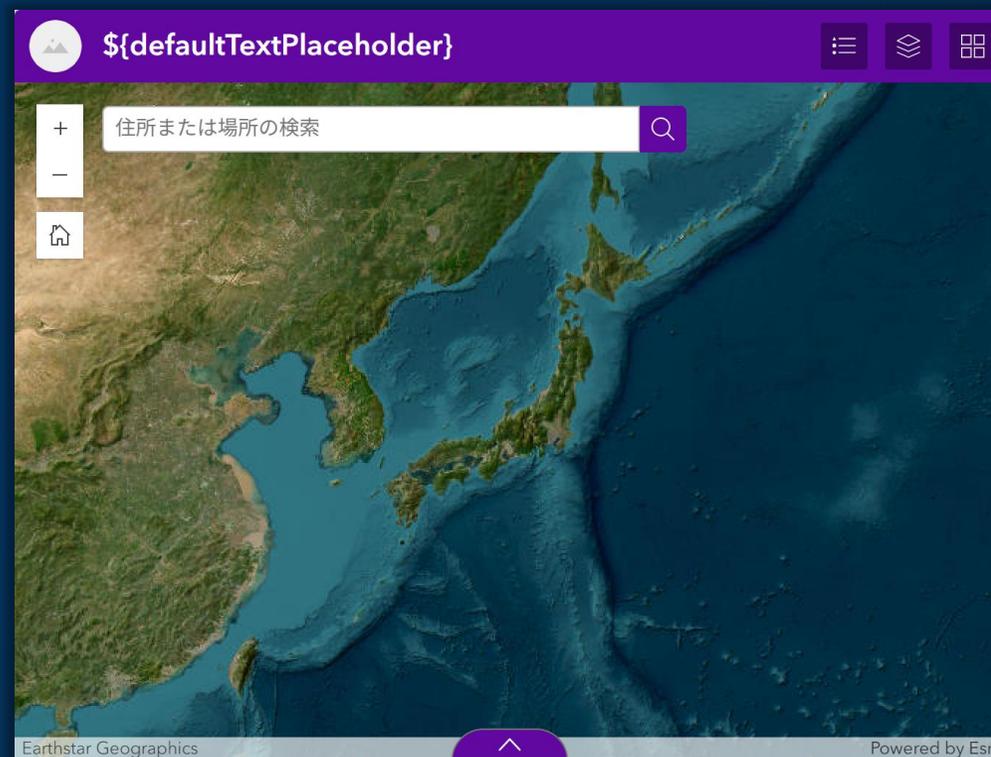


# テンプレートの選び方

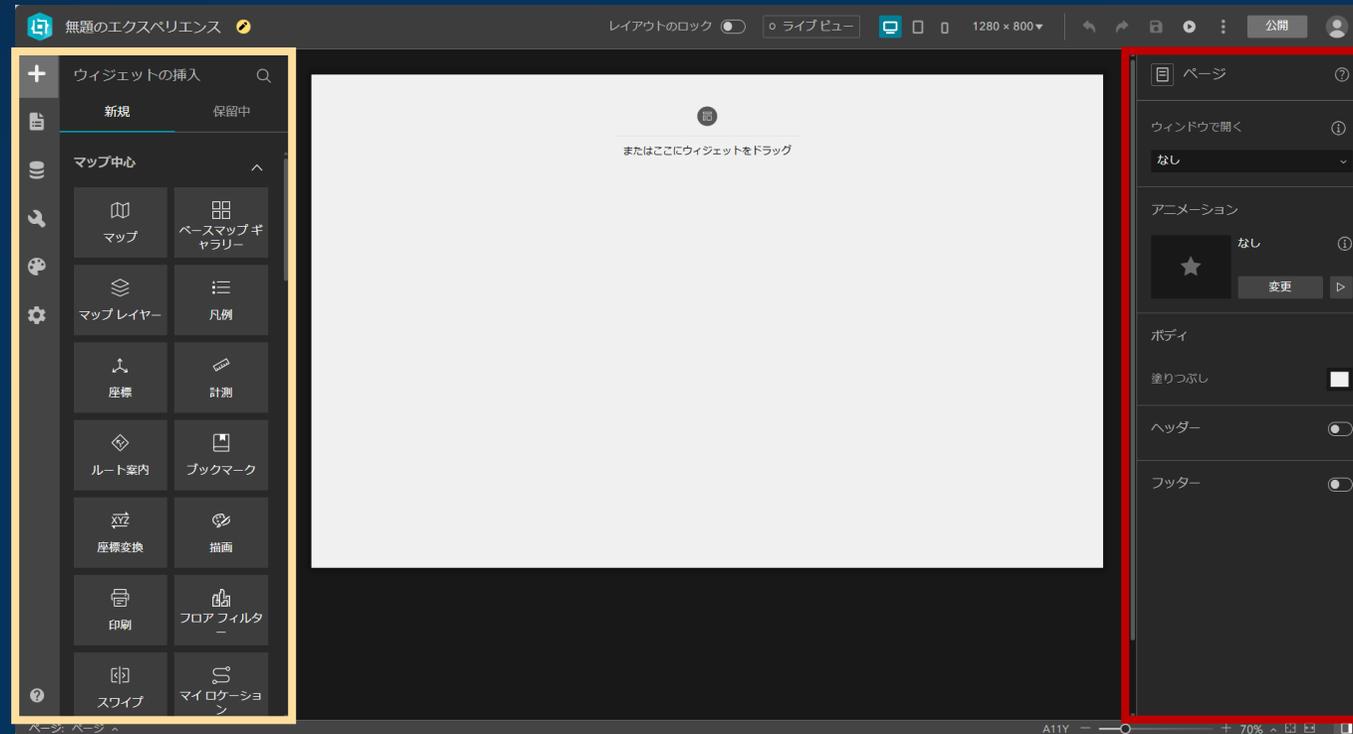
カーソルを重ねて説明を表示



虫眼鏡ボタンからプレビューを確認



# ビルダー画面



## 左サイドバー

ウィジェットやテーマ  
使用するデータを管理

## キャンバス

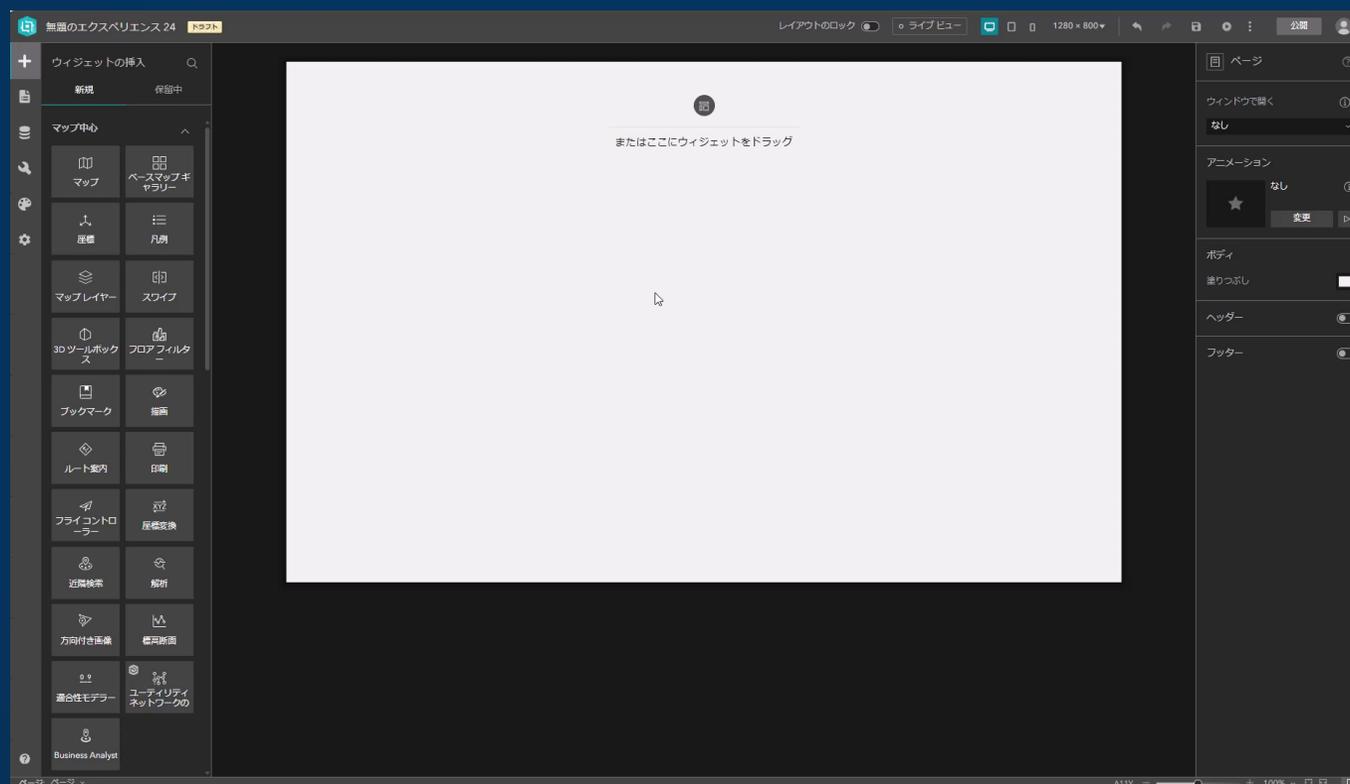
ウィジェットを追加して  
アプリを構築するメイン画面

## 右サイドバー

アプリ・ウィジェットの  
動作やデザインを設定

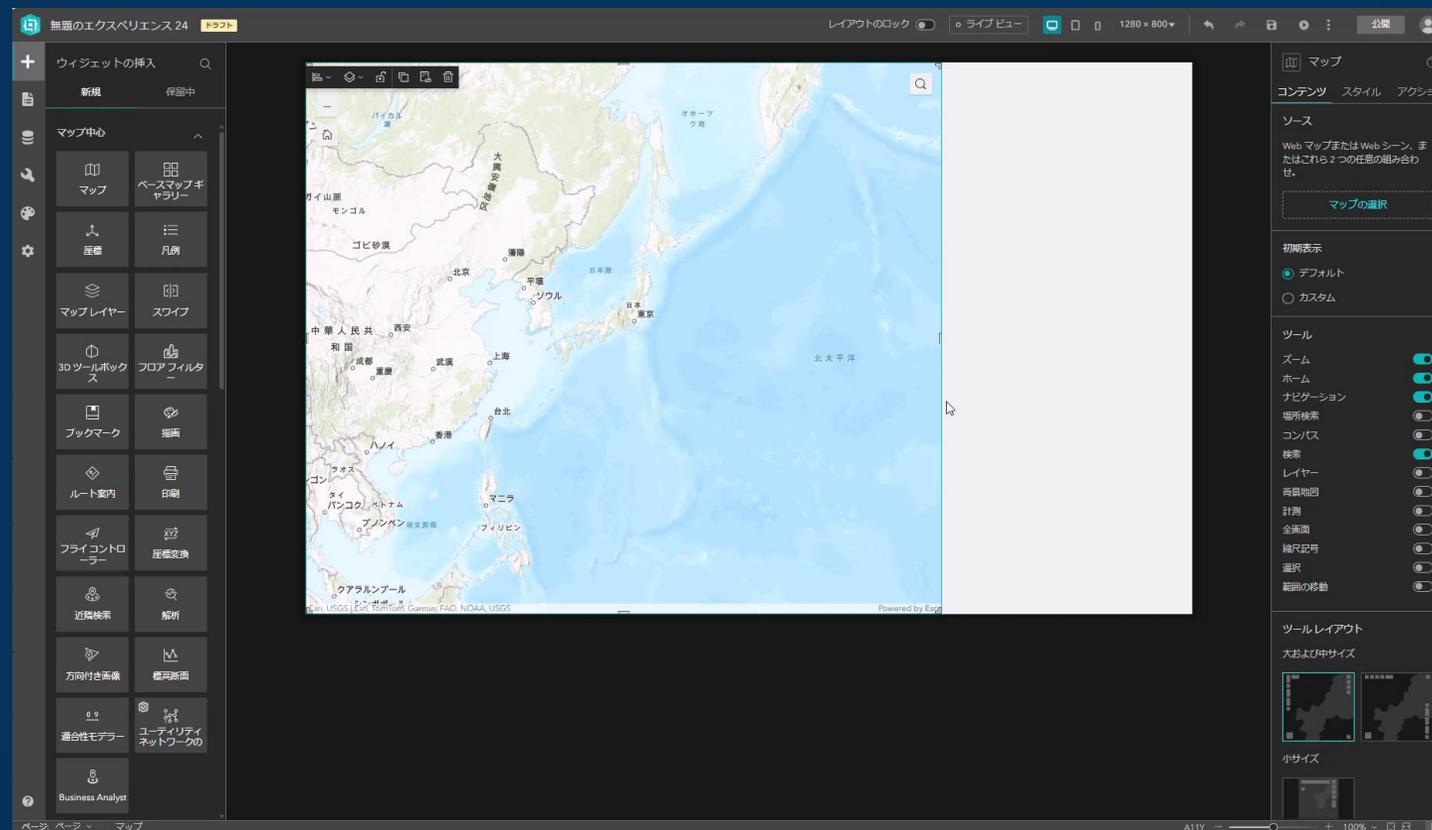
# ウィジェットの追加

- ドラッグアンドドロップで追加
- ウィジェットの位置や大きさを変更



# ウィジェットの設定

- ウィジェットを使用するための必要な情報を設定



# テーマの変更

- 必要に応じてWeb アプリのテーマを変更

The screenshot shows the 'esriジャパン 集客施設閲覧アプリ' (esri Japan Attraction Facility Viewing App) interface. The main view is a map of Saitama Prefecture with various colored dots representing facilities. A pie chart on the left shows the distribution of facilities by category: 商業・サービス施設 (16.63% (132)), 公園・緑地 (35.7% (221)), 教育・文化施設 (7.89% (177)), and 観光・レジャー施設 (0.89% (23)).

Below the pie chart, there are two filter sections:

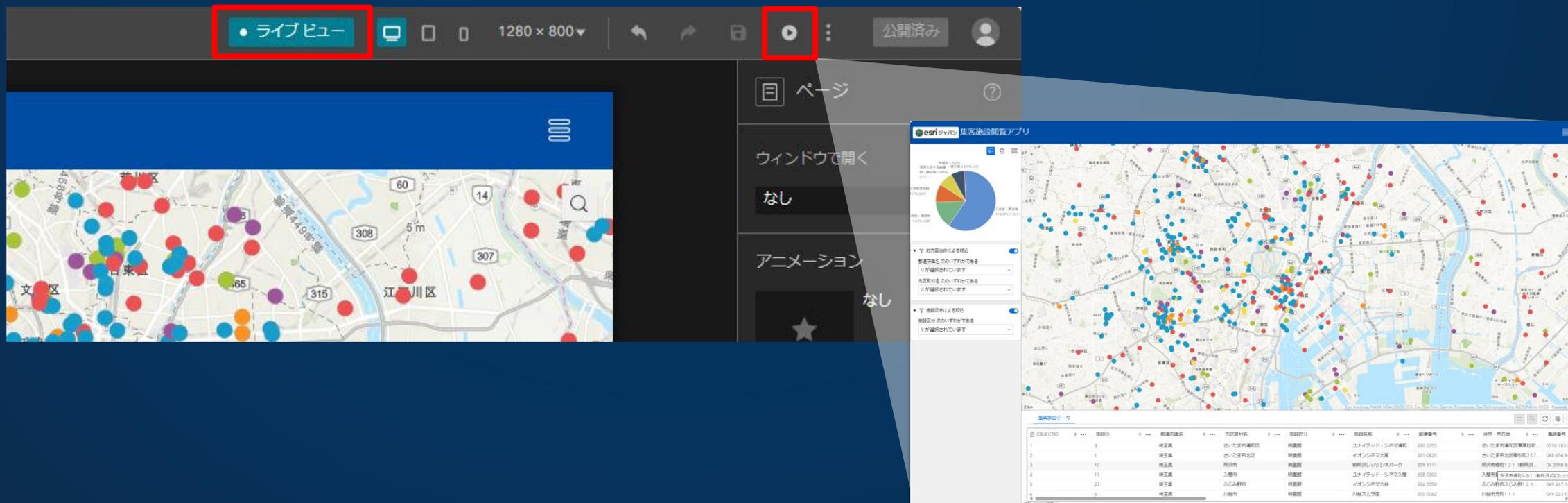
- 地方自治体による絞り込み** (Filter by Local Government):
  - 都道府県名 次のいずれかである (Select one of the following prefecture names): 0 が選択されています (0 selected)
  - 市区町村名 次のいずれかである (Select one of the following city/town/village names): 0 が選択されています (0 selected)
- 施設区分による絞り込み** (Filter by Facility Type):
  - 施設区分 次のいずれかである (Select one of the following facility types): 0 が選択されています (0 selected)

At the bottom, there is a table titled '県名施設データ' (Prefecture Facility Data) with the following columns: OBJECTID, 施設ID, 都道府県名, 市区町村名, and 施設区分.

OBJECTID	施設ID	都道府県名	市区町村名	施設区分
1	3	埼玉県	さいたま市浦和区	映画館
2	1	埼玉県	さいたま市北区	映画館
3	10	埼玉県	所沢市	映画館
4	17	埼玉県	入間市	映画館
5	23	埼玉県	ふじみ野市	映画館
6	6	埼玉県	川越市	映画館

# Web アプリの動作確認

- ライブビュー
  - ビルダー上で動作を確認
- プレビュー
  - 別タブで Web アプリ全体を確認



# Web アプリの公開

## 変更内容を公開

- ビルダーで行った変更はドラフト ステータス
- 公開することで、アプリとして利用可能

[公開] をクリック



# Web アプリの共有

## 共有範囲を変更

1. [その他] → [共有設定の変更]
2. アイテム ページの [共有] から変更

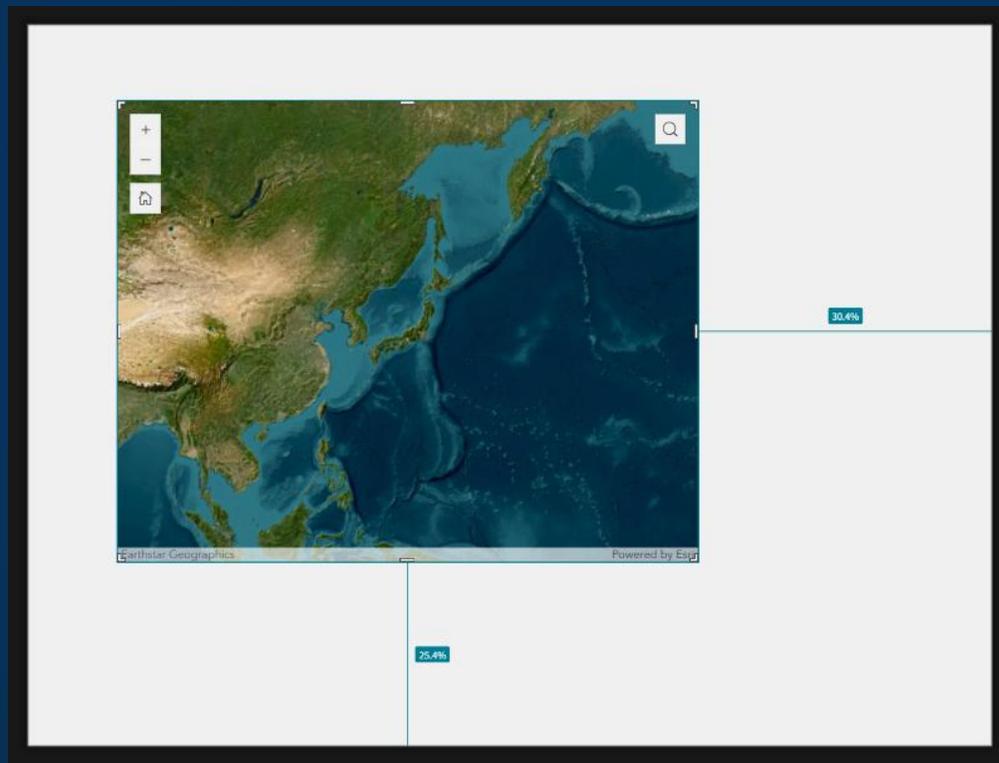
The screenshot shows the ArcGIS Web App interface. In the top right corner, a menu icon (three dots) is highlighted with a red box. A dropdown menu is open, showing options: '名前を付けて保存', '削除', '共有設定の変更' (highlighted with a red box and a yellow arrow), '公開し アイテムの表示', and '公開し アイテム リンクのコピー'. Below this, the 'アイテム ページ' (Item Page) is shown. The '共有' (Sharing) button is highlighted with a red box. The item details show 'Web Experience 作成者 demo' and '作成されたアイテム: 2025年4月28日'.

The '共有' (Sharing) dialog box is shown. It has a title bar with '共有' and a close button. The main content is '共有レベルの設定' (Sharing Level Settings). There are three radio button options: '所有者' (Owner) - 'アイテムの所有者がアクセス可能' (Item owner can access), '組織' (Organization) - '組織のメンバーがアクセス可能' (Organization members can access), and 'すべての人に公開 (パブリック)' (Public) - '組織外のユーザーがアクセス可能' (Users outside the organization can access). Below this is 'グループ共有の設定' (Group Sharing Settings) with 'なし' (None) selected and a 'グループ共有の編集' (Edit Group Sharing) button. At the bottom are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

# その他の設定

多機能で見栄え良いアプリ作成のために

- **スタイル**
  - ウィジェットのサイズや位置を設定



コンテンツ      スタイル

≡ ⊕ ⊞ ⊠ ← ⇨ → …

### サイズ & 位置

幅      ▾ 180.00 px

高さ      ▾ 100.00 %

0 %      0 %

左下

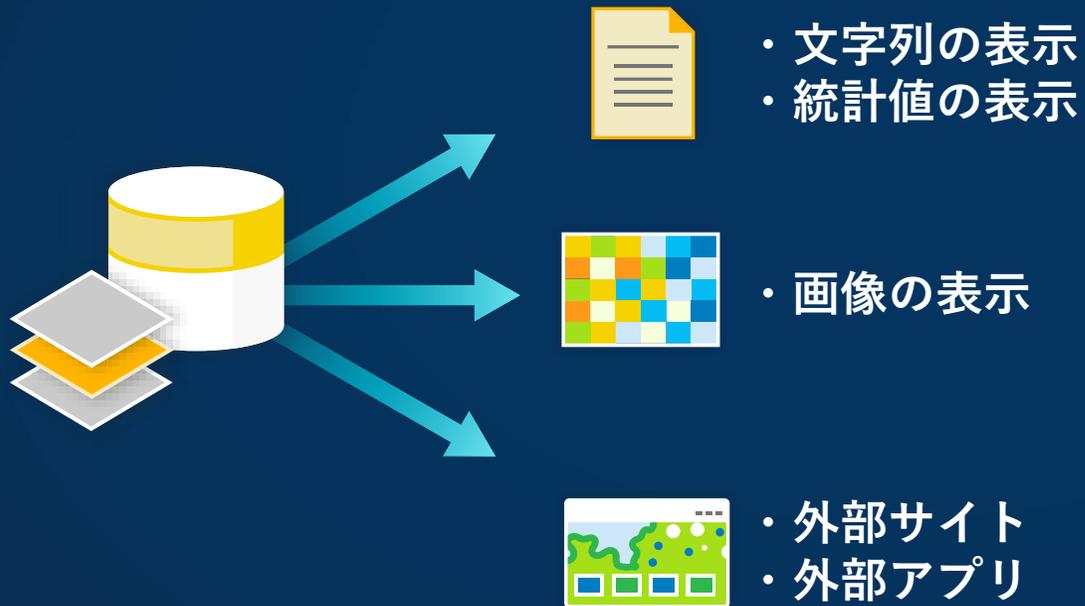
回転      0°

親コンテナ内に維持

# その他の設定

多機能で見栄え良いアプリ作成のために

- 動的コンテンツ
  - 属性情報を利用して文字や数値を表現



添付 ファイル	{name} {yomi} 人口: {population} 人 世帯数: {setai} 件
------------	--

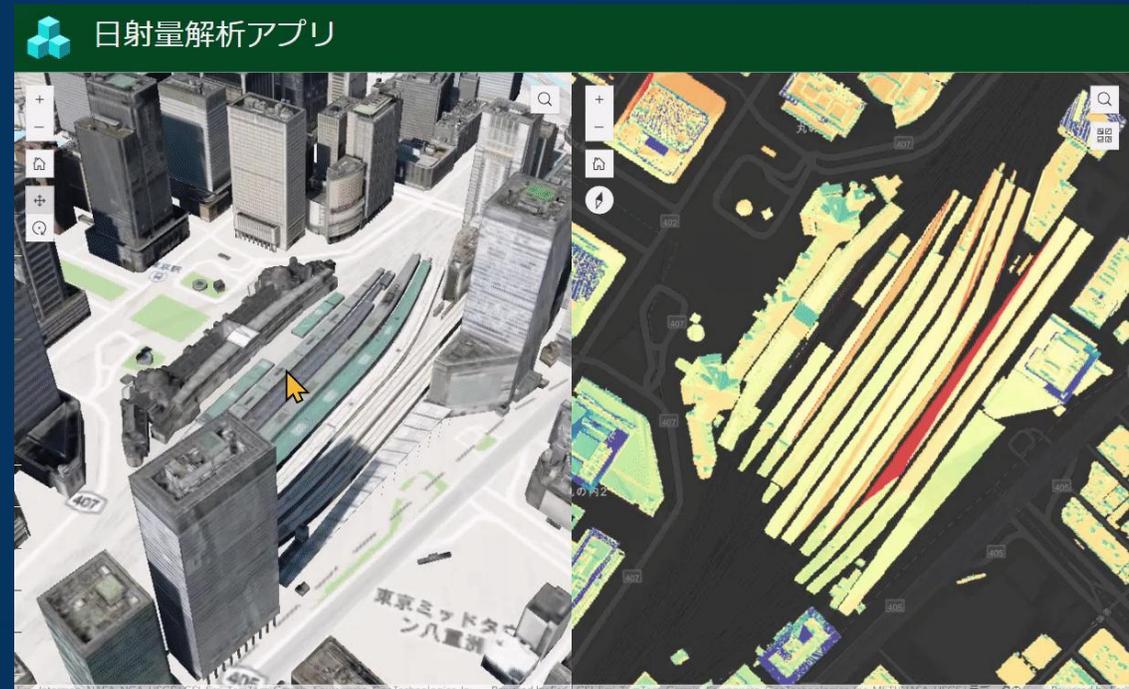
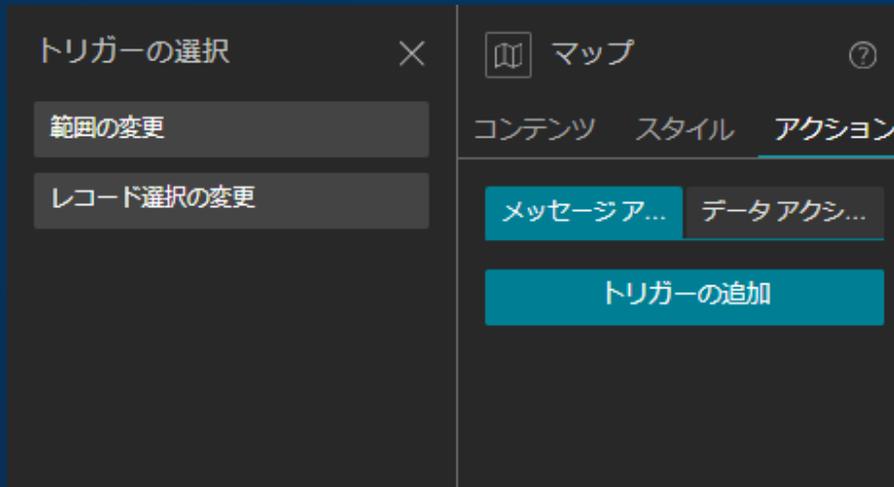


	千代田区 Chiyoda-ku 人口: 63,635 人 世帯数: 35,830 件
	中央区 Chuo-ku 人口: 162,502 人 世帯数: 91,852 件
	港区 Minato-ku 人口: 257,426 人 世帯数: 145,865 件
	新宿区 Shinjuku-ku 人口: 346,162 人 世帯数: 219,639 件

# その他の設定

多機能で見栄え良いアプリ作成のために

- アクション
  - ウィジェット同士の連携やデータ処理機能

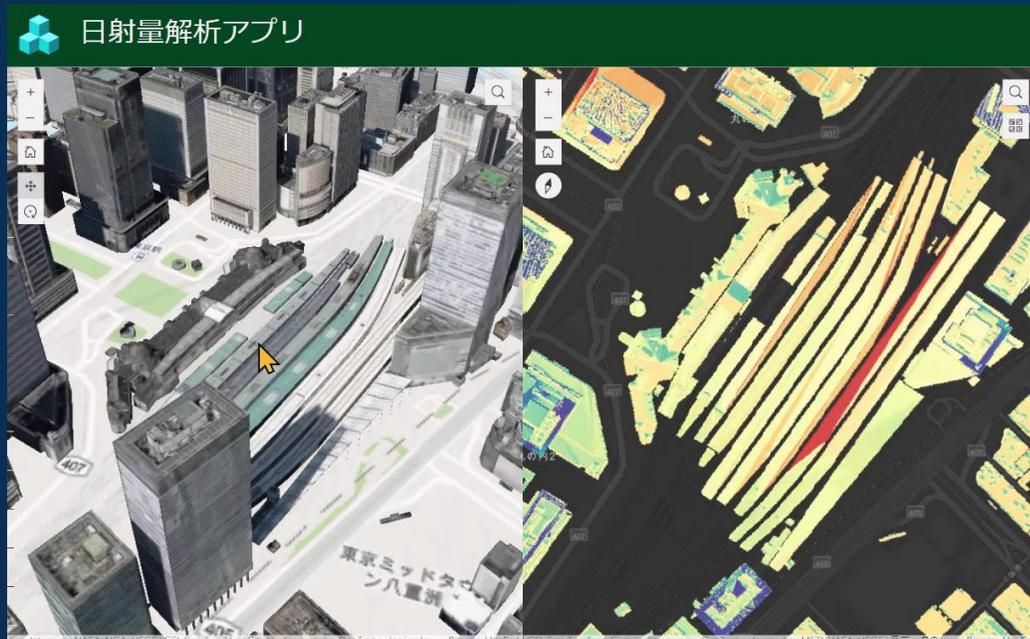




# ArcGIS Experience Builder の「アクション」

# 「アクション」とは

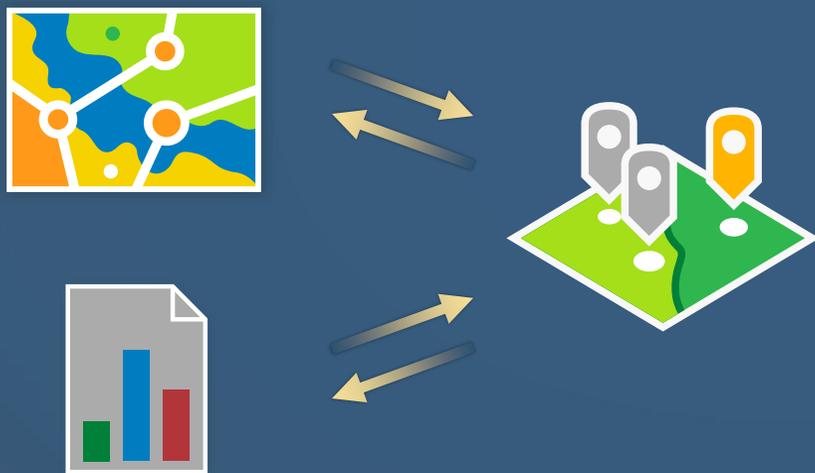
## 動的かつ対話的な Web アプリを作成する機能



## 2つの「アクション」

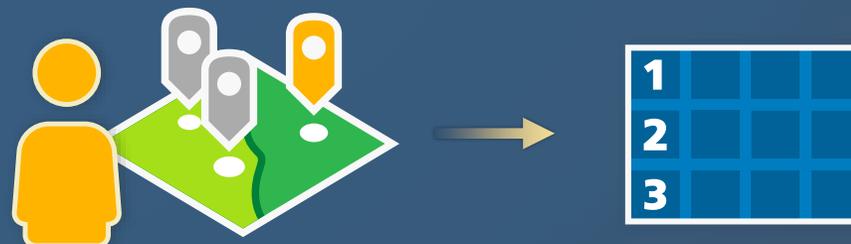
### メッセージ アクション

ウィジェット相互の  
連動を構成



### データ アクション

アプリ ユーザーが行う  
データ処理機能の構成

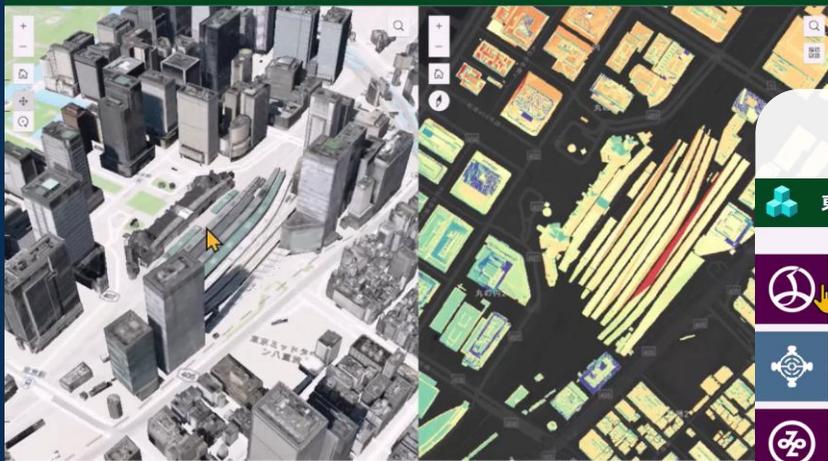


# メッセージアクション

ウィジェット相互の連動を構成

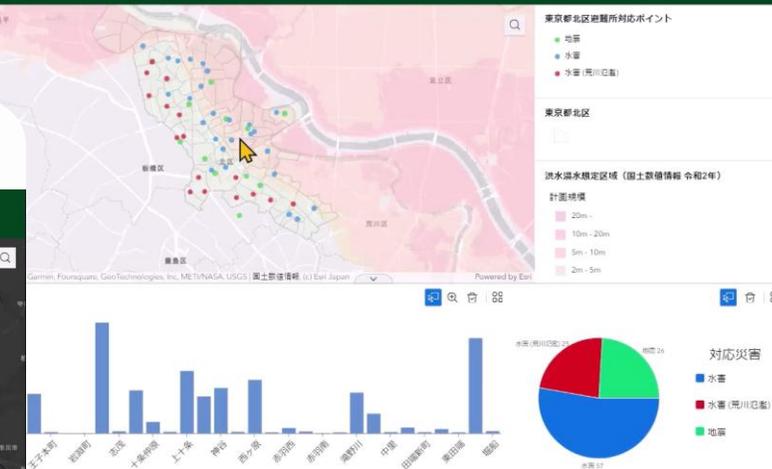
## 2D マップと 3D シーン

日射量解析アプリ



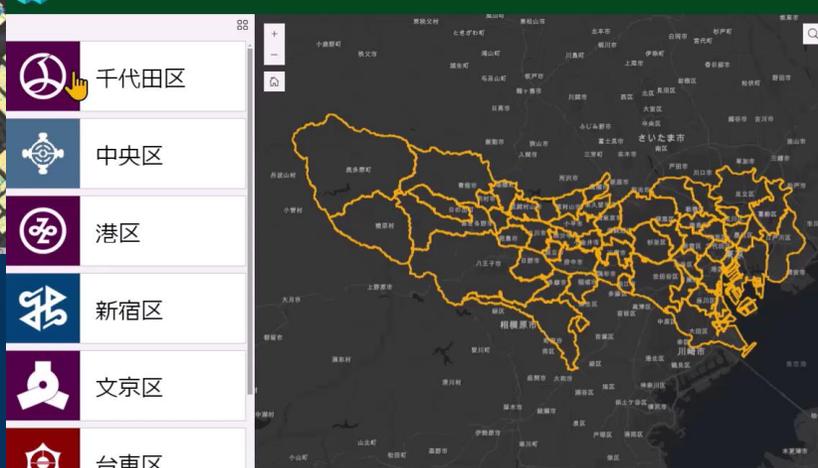
## チャートとマップ

避難所情報アプリケーション



## リストとマップ

東京都市区町村マップ (ズーム)



# メッセージアクションの追加

- [トリガーの選択] → [ターゲット選択] → [アクションの選択]
- 追加できるアクションはウィジェットごとに異なる

The image displays a sequence of five screenshots illustrating the process of adding a message action:

- Step 1:** The main application interface for '市区町村リスト6'. The 'アクション' tab is selected, and the 'トリガーの追加' button is highlighted.
- Step 2:** The 'トリガーの選択' dialog box is shown, with options for '範囲の変更' and 'レコード選択の変更'.
- Step 3:** The 'ターゲット選択' dialog box is shown, listing available widgets: フレームワーク, マップ 1-1, マップ 2-1, マップ 3, マップ 4, and マップ 5.
- Step 4:** The 'アクションの選択' dialog box is shown, listing available actions: 画面移動, ズーム, フラッシュ, and フィルター.
- Step 5:** The final state shows the 'トリガーの追加' button and a sub-dialog for 'レコード選択の変更' with options for 'マップ 6' and 'ズーム', and a '+ アクションの追加' button.

# メッセージアクションの3要素

## トリガー

アクションを行うきっかけ  
ユーザーがアプリで行う動作



範囲変更



レコード選択

## ターゲット

アクションを行う対象  
実行される対象の指定



ウィジェット



フレームワーク※

## アクション

ターゲットで行われる動作



連動操作



レコードフィルター

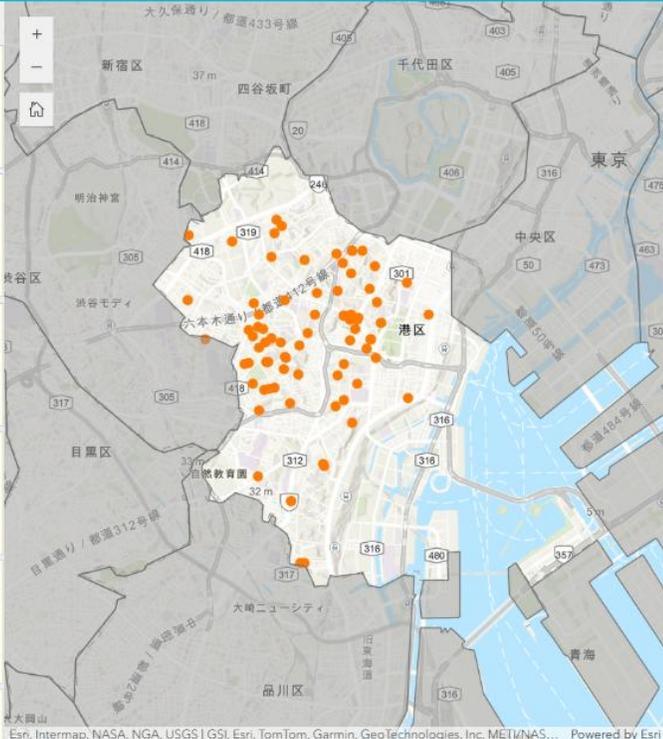
# デモンストレーション ①

メッセージ アクションの追加

- マップ ウィジェット
- フレーム ワーク

東京都港区大使館マップ

	アイスランド大使館
	アフガニスタン・イスラム共和国大使館
	アメリカ合衆国大使館
	アルゼンチン共和国大使館
	アルメニア共和国大使館
	イタリア大使館



Esri, Intermap, NASA, NGA, USGS | GSI, Esri, TomTom, Garmin, GeoTechnologies, Inc, METI/NAS... Powered by Esri

# メッセージアクションの種類

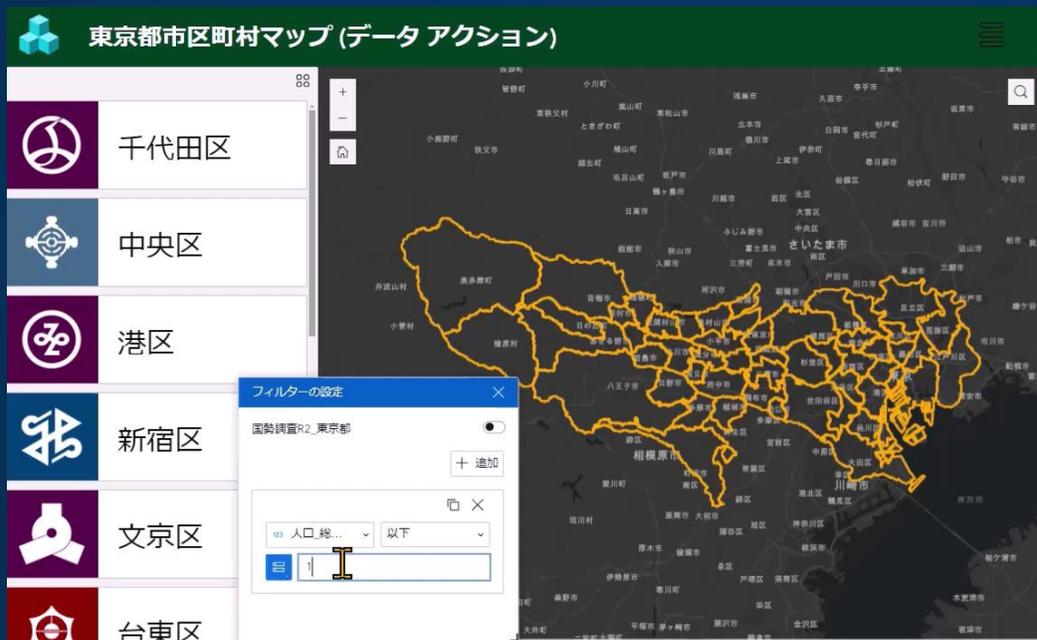
ターゲット 7種	トリガー 7種						
	ボタンをクリック	追加されたデータ	データのフィルターを変更	レコード選択の変更	範囲の変更	作成されたレコード	ビューの変更
フレームワーク	—	—	—	データレコードのフィルター データレコードの選択	データレコードのフィルター	—	—
Business Analyst	—	—	—	フィーチャの選択	—	—	—
標高断面	—	—	—	ラインによる選択	—	—	—
マップ	—	マップに追加 画面移動 ズーム	画面移動 ズーム	画面移動 / ズーム フラッシュ フィルター	画面移動 ズーム	画面移動 ズーム マップ上に表示	—
近隣検索	—	—	—	位置の設定	—	—	—
セクション	—	—	—	ビューを開く	—	—	—
サイドバー	サイドバーを開く サイドバーの切り替え	—	—	サイドバーを開く	—	—	サイドバーを開く
ウィジェット コントローラー	ウィジェットを開く ウィジェットの切り替え	—	—	ウィジェットを開く	—	—	—

組み合わせ計 28 種類

デモで紹介したアクション

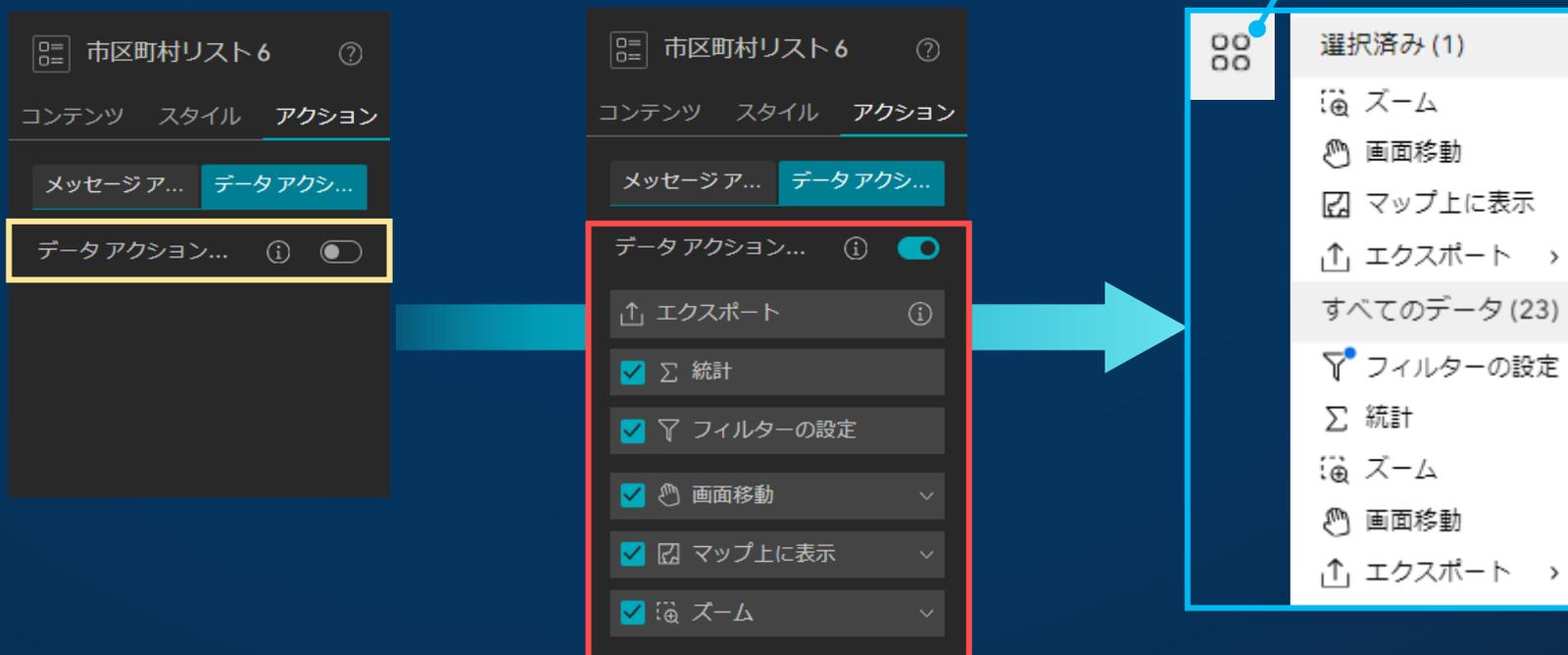
# データ アクション

- ユーザーがアプリ内で操作できるデータ処理機能を設定
  - データのフィルター処理
  - データのエクスポート など



# データアクションの追加

- データアクションの有効化 → データアクションの選択 → アクションボタン
- 有効化できるアクションはウィジェットごとに異なる



# デモンストレーション ②

データ アクションの追加

- リスト ウィジェット

東京都港区大使館マップ

	アイスランド大使館
	アフガニスタン・イスラム共和国大使館
	アメリカ合衆国大使館
	アルゼンチン共和国大使館
	アルメニア共和国大使館
	イタリア共和国大使館

Esri, Intermap, NASA, NGA, USGS | GSI, Esri, TomTom, Garmin, Geo Technologies, Inc, MEI/NAS... Powered by Esri

# データアクションの種類

ウィジェット	フレームワーク					解析	ルート案内			編集	標高断面	マップ						近隣検索	テーブル	
	エクスポート	関連データ	選択	フィルターの設定	統計	解析の入力として設定	ルート案内の出発地	ルート案内の目的地	ルート案内の計画	編集	標高断面の表示	マーカーの追加	画面移動	マップ上に表示	ポップアップの表示	ズーム	マップに追加	位置の設定	テーブルに追加	テーブルでの表示
解析					✓	✓						✓			✓	✓		✓		
データの追加	✓			✓	✓	✓						✓			✓	✓	✓	✓	✓	
チャート	✓				✓	✓	✓	✓											✓	✓
フィーチャ情報	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓
リスト	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓
マップ	✓	✓				✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓		✓
マップレイヤー	✓			✓	✓	✓												✓	✓	
現在の位置	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓
近隣検索	✓					✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓		
クエリ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓
選択	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓		✓
テーブル	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓		✓

[データアクションの詳細 \(ArcGIS Experience Builder リソースページ\)](#)

デモで紹介したアクション

# 「アクション」の進化

- ArcGIS Experience Builder のアップデートで進化



The screenshot shows the ArcGIS Experience Builder help page for new features. The page title is "新機能" (New Features). The main content area contains a paragraph and a bulleted list of updates. The left sidebar has a navigation menu with "新機能" selected. The right sidebar has a "このトピックの内容" (Content of this topic) section with "ウィジェット" (Widget).

ArcGIS Experience Builder

概要 ガラリィ リソース 営業担当者への連絡 購入オプション

ホーム はじめに アプリのビルド 構成可能なウィジェット

Experience Builder ヘルプの検索

基本操作 / 参考情報

> 基本操作

▼ 参考情報

FAQ

新機能

## 新機能

ArcGIS Online | 他のバージョン ▼

ArcGIS Experience Builder の 2025 年 6 月の更新には、以下に示す新しい機能やウィジェット、および機能拡張が含まれています。

- **アクセシビリティ** - データの追加、フィーチャ情報、フィーチャレポート、フロー行、計測、選択、サイドバーの 7 つのウィジェットでもアクセシビリティ機能がサポートされるようになりました。印刷ウィジェットの [コンパクト] モードでは、アクセシビリティ機能がサポートされています。Shift + スペース キーを押して、テーブルウィジェット内の行を選択できます。ギャラリー、一般、スカイライン、サマリーの 4 つのデフォルト テンプレートがアクセシビリティについて最適化されています。
- **アクション** - 2 つの新しいメッセージ アクション (ビューを開く、ウィジェットの切り替え) およびマーカーの追加データ アクションが追加されました。ビューを開くでは、セクションウィジェットで特定のビューを開きます。ウィジェットの切り替えでは、ウィジェット コントローラー ウィジェット内のウィジェットを開閉します。新しいマーカーの追加データ アクションを使用し、ポイント フィーチャ、ライン フィーチャ、ポリゴン フィーチャを表すマーカー ポイント シンボルをマップに追加できます。ポイントの場合、マーカーはポイントと同じ位置に表示されます。ラインとポリゴンの場合、マーカーは重心に表示されず、さらに、テーブルに表示データ アクションとテーブルに追加データ アクションには、新しい [同じシートで開く] 設定が追加されました。この設定をオンにすると、初めてテーブルにデータを追加または表示するときに、テーブルに新しいシートが追加されます。次回からは、データを追加または表示するときにさらにシートが追加されるのではなく、同じシート内で前のデータが新しいデータで置換されます。エクスポート データ アクションを使用してシェープファイル、FGDB、KML にエクスポートできるようになりました。

このトピックの内容

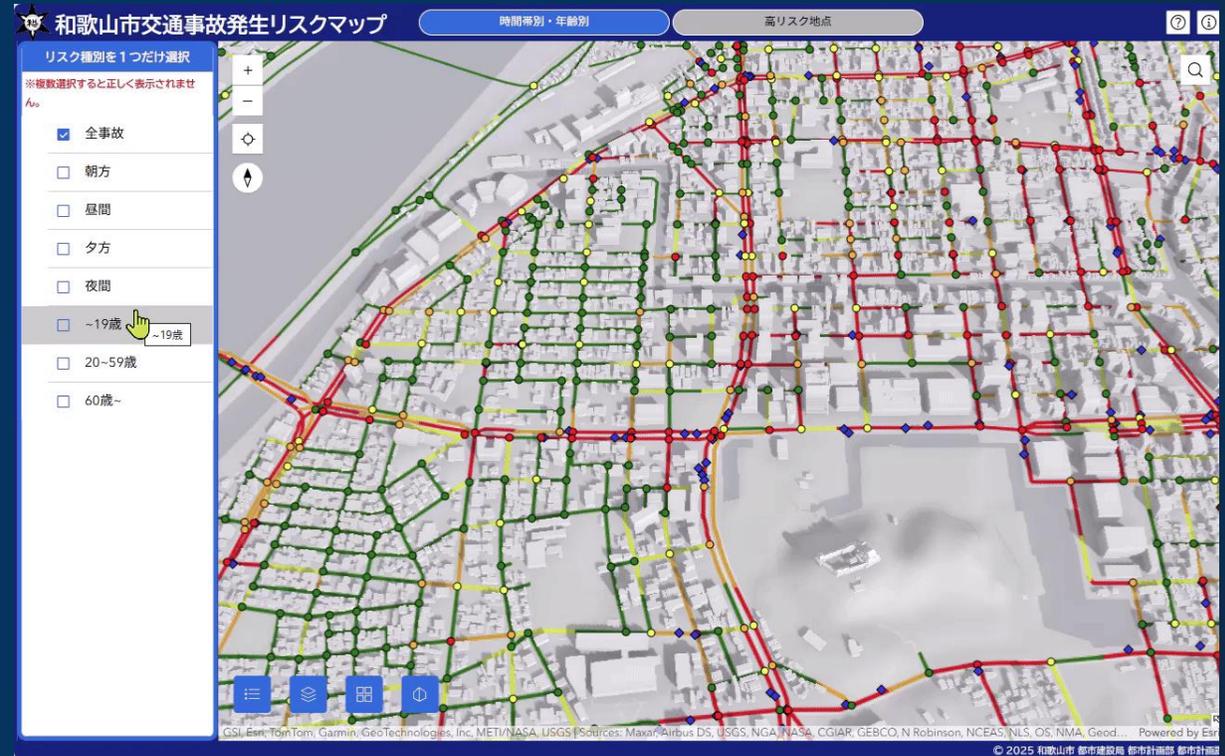
ウィジェット

<https://doc.arcgis.com/ja/experience-builder/latest/get-started/whats-new.htm>

# 事例



関東大震災100年復興デジタルアーカイブ



和歌山市交通事故発生リスクマップ

# 「アクション」の利用ガイド

- ArcGIS Experience Builder 利用ガイド – アプリのアクション



## 目次

### アクションの種類

[メッセージ アクション](#) / [データアクション](#)

### メッセージ アクションの追加

[トリガーの選択](#) / [アクションの選択](#)

### メッセージ アクションの例

[ズーム](#) / [フラッシュ](#) / [フィルター](#) /  
[データ レコードのフィルタリング](#) / [データ レコードの選択](#)

### データ アクションの追加

[データ アクションの有効化](#)

<https://storymaps.arcgis.com/collections/17d54de732b14fa3a66152b21fbb2fa1?item=5>

# まとめ





# ArcGIS Experience Builder



## ノーコードで柔軟な Web アプリを開発

デバイスに合わせたレイアウト

複数ページの構成が可能

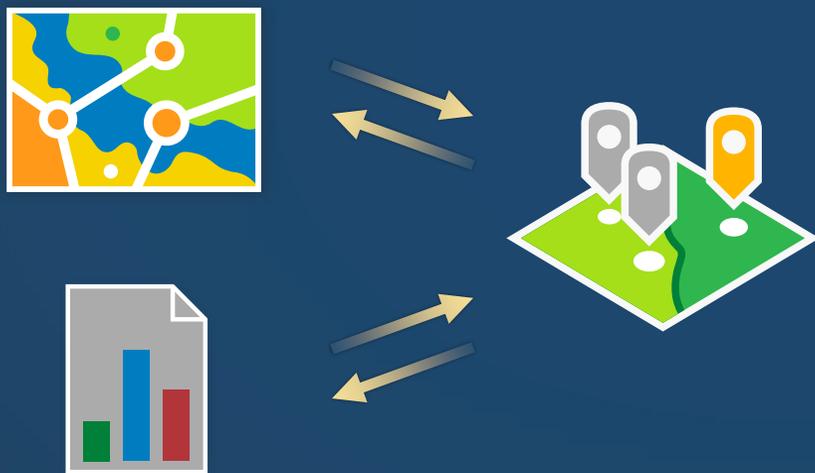
2D / 3D の連動



## 2つの“アクション”

### メッセージ アクション

ウィジェット相互の  
連動を構成



### データ アクション

アプリ ユーザーが行う  
データ処理機能の構成



# 参考資料

# 参考資料

- ArcGIS Online  
<https://www.esri.com/products/arcgis-online/>
- ArcGIS Enterprise  
<https://www.esri.com/products/arcgis-enterprise/>
- ArcGIS Experience Builder  
<https://www.esri.com/products/arcgis-experience-builder/>
- ArcGIS Experience Builderを始めよう！利用ガイド  
<https://storymaps.arcgis.com/collections/17d54de732b14fa3a66152b21fbb2fa1/>



# 利用に必要なライセンス

アプリの作成には、組織に最低 1 つ **Creator/Professional/Professional Plus** が必要  
その他のユーザータイプでは、特定の機能にのみアクセスできます

機能	パブリック アクセス	ArcGIS Online / ArcGIS Enterprise ユーザータイプ			
		Viewer	Contributor	Mobile Worker	Creator / Professional / Professional Plus
アプリの作成・管理	-	-	-	-	○
アプリ上でデータの編集※1	○※2	-	○	○	○
アプリの表示	○※3	○	○	○	○

※1 編集機能が許可されたアプリのみ。 ※2 パブリックなアプリのみ。編集対象レイヤーのパブリック データ コレクションが有効化されている必要があります。 ※3 パブリックなアプリのみ。

